

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

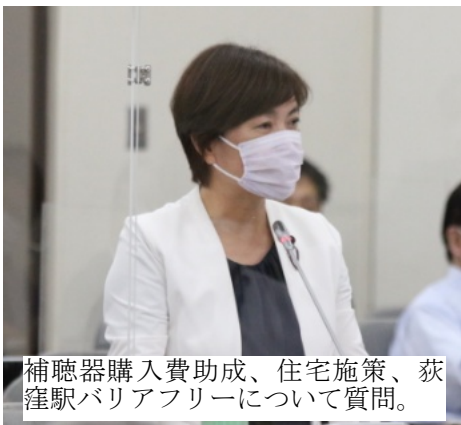
2022. 10. 27 NO. 358

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



岸本区長就任後 初の区議会定例会が閉会 全議案可決 多くの前向きな変化 前区政の歪み是正へ



補聴器購入費助成、住宅施策、荻窪駅バリアフリーについて質問。

新たな区政へ歴史的な一歩

10月19日、杉並区議会第3回定例会が閉会しました。今定例会は岸本区政誕生後初の議会でした。日本共産党杉並区議団は、岸本区政が区民の願いに答え前進するよう提案するとともに、前・田中區政のもとでの様々な問題の是正を求めました。

岸本区長は所信表明や質問への答弁で、公約の実現を表明。住民との対話による区政運営を訴えました。連日、議会には多くの区民が傍聴にかけつけ「区政が変わった」「杉並の夜明けを感じた」などの喜びの声を上げました。

くらしを守る施策 区議団の提案が実現に向け動き出す

前区政の時から党区議団が提案し続けてきたことが、次々と実現する方針が示されました。

区民のくらしに関する施策では、補正予算で学校給食費の4月に遡った値下げを提案(可決)、物価対策でも「区民生活に目を凝らし苦境に立つ区民に寄り添う」「必要な対応をはかっていく」と表

明。前区政が背を向けてきた家賃助成や補聴器購入費助成の実施が示されました。国民健康保険料等の負担抑制について、区長は「抑制を検討していかなければ」と表明しました。区長選挙の重大争点となった児童館・ゆうゆう館の廃止計画では、住民意見の聴取と検証、見直しが示され、前区政の強引な都市計画道路整備についても、住民との対話による今後の計画の検討が表明されました。(岸本区政での変化は右表)

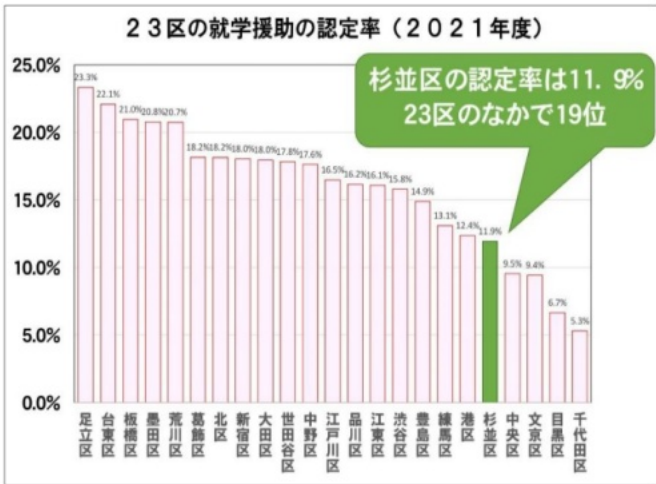
党区議団は区民と力を合わせ、区政のさらなる前進に向けて全力を尽くす決意です。

岸本区長のもとでの前向きの変化について

■くらしに関わる施策について	
学校給食費値下げ	4月に遡って値下げを実施
家賃助成	実施に向けて検討を進める
補聴器購入費助成	実施に向けて検討へ 中身を作成中
■区長選挙の重大争点となった施策について	
情報公開	過去の事例を不問にしない 原則公開を徹底
児童館・ゆうゆう館等の廃止方針	住民への対話と意見聴取を実施 取り組みの検証と見直し
都市計画道路整備	多くの区民と課題を共有し対話を通じ議論
都市計画マスタープラン	骨子案の段階から住民意見を方針案に反映
施設使用料引き下げ	気軽に使えるよう近隣区の実態を踏まえ見直し
■前・田中區長による問題について	
区長公用車	区長専用車廃止 区職員共用の庁有車に変更
命の選別トリアージ	行政が命の選別に繋がる発言や基準を作ってはならない
利害関係団体とのゴルフ	不信を生まないよう行動、職員倫理の見直し

共産党区議団 岸本区政

就学援助の拡充を提案 保護者負担軽減に前向き答弁



杉並区の認定率は11.9%
23区のなかで19位

決算特別委員会で、富田たく議員は就学援助について質問しました。

就学援助の認定率 杉並は23区中19位

就学援助制度は経済的な困難をかかえる世帯に、学用品費や給食費などが、支給基準などは自治体によって異なります。

杉並区の就学援助の認定基準額は前・田中区政のもとで、2012年度に改悪され、認定の際の条件である認定基準額を引き下げてしまいました。

その結果、少なくとも世帯が就

■23区の就学援助の認定基準額の比較(抜粋)

世帯人数	認定基準の目安額		
	杉並区	中野区	千代田区
2人世帯	約 307 万円	約 328 万円	約 353 万円
3人世帯	約 338 万円	約 349 万円	約 387 万円
4人世帯	約 363 万円	約 386 万円	約 421 万円
5人世帯	約 420 万円	約 460 万円	約 496 万円

党区議団独自調査より作成。「認定基準額の目安」は給与所得控除後の金額。2人世帯の目安額は児童扶養手当(33万円)を含んだ金額を表示しています。
※上記表はあくまでも目安です。認定基準額は世帯構成や年齢等により異なります。

学援助から除外され、認定率が大幅に低下。23区中19位となっています。

富田議員は、こうした実態をグラフ(左上表)に示し、認定率が23区のなかで下位となっているのは、認定基準が他区と比べ厳しい現状があるためと指摘(左下表)。改善を迫りました。

負担軽減について 至急検討を進める

学務課長は「認定率については、杉並区は比較的低い区である」と認め「保護者負担の軽減

のあり方、進め方については、至急検討を進めていきたい」「認定率を上げるにはどれくらい

はどれくらいか(中略)、併せて検討をして参りたい」と答弁。就学援助の基準緩和による保護者負担軽減に前向きな姿勢を示しました。



先週末、長野県八ヶ岳山麓に行ってきました。雄大な八ヶ岳連峰を眺め11月議会に向けて英気を養いました。

見過ごせない下劣な区長攻撃

第3回定例会で、自民党少数派(前・田中区長支持)の國崎たかし議員は、岸本区長に対し、下劣な攻撃を行いました。一つは、岸本区長が公約で掲げた家賃助成の実施は無理と一方的にきめつけ、区民をだました「詐欺じみた」行為と攻撃したこと。区長も担当課も家賃助成は実施すると答弁しており、公約違反をでっちあげようとする行為です。もう一つは、区長が町会入会の要請に「引越すから入らない」と断わったと紹介し、区長になぜ断ったのか、と質問したこと。区長は「町会自治会の方が訪問した事実はありません」と答弁。当該の自治会長も、党区議団の山田耕平議員の問い合わせに驚き、そうした事実を「知らない」と回答しました。

結果的に國崎議員は、議会で「認識不足があった」「区長及び町会の皆さんにお詫びをする」と謝罪しました。岸本区政の前進を妨害しようとする意図のもとに行われたことは明らかであり、卑劣な行為は看過できません。